

# 事業概要シート

施策： 教育環境の充実

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 中学校施設環境改善事業	新規	予算額	4,746 千円
			《 0 》
	財源内訳	国庫支出金	0 千円
		県支出金	0 千円
		地方債	0 千円
		その他	0 千円
		一般財源	4,746 千円

**【事業の目的・概要・対象】**

各中学校の普通教室及び通級指導教室にエアコンを設置し、生徒が快適に学べる学習環境を整備することで学力の向上につなげる。  
 また、各中学校のトイレに洋式トイレを設置し、和式トイレに不慣れな生徒の健康面に配慮するとともに、ストレスの軽減を図る。

○エアコン設置

各中学校の普通教室及び通級指導教室約100教室にエアコンを設置する。

○トイレ洋式化

平成32年度から2か年事業で、各中学校67か所に洋式トイレを設置する。

※小中学校全体の洋式化率65%以上を目標とする。

○エアコン設置計画

(平成30年度) ・エアコン設置実施設計 (事業費 4,746千円)  
 中学校6校/100教室 (玖島・西大村・萱瀬・郡・大村・桜が原)

計 4,746千円

○トイレ洋式化計画

(平成32年度) ・トイレ洋式化改修実施設計 (事業費 2,613千円)  
 (平成33年度) ・トイレ洋式化改修工事 (事業費 20,100千円)  
 中学校5校/67か所 (玖島・西大村・郡・大村・桜が原)

計 22,713千円  
 総事業費 27,459千円

**【背景】**

【エアコン】これまで職員室や図書室・パソコン室等に設置を行ってきた。普通教室については、各教室に4台の扇風機を設置し、暑さ対策を講じてきたが、近年の気温の上昇等により、エアコンの必要性が高まっている。

【トイレ】学校の改築等の際には洋式トイレを設置し、既存のトイレについては、各階のフロアに少なくとも1か所洋式トイレを設置しているが、家庭や公共施設で洋式トイレが普及する中、和式トイレを使用できない生徒が見受けられ、洋式化が急務である。

担当課	教育委員会教育総務課	問合せ先	0957-53-4111 (内線371)
-----	------------	------	----------------------

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)	H33 (目標)
①	トイレを洋式化するか所数	目標値 か所					67
②		目標値					

## 【成果指標】

指標名		単位	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)	H33 (目標)
①	市内小中学校トイレの洋式化率	目標値 %					65.4
②		目標値					

## 【予算・決算】

年度	H27	H28	H30	H31	H32	H33	合計
事業費			4,746		2,613	20,100	27,459
国庫支出金			0		0	0	0
県支出金			0		0	0	0
地方債			0		0	0	0
その他			0		0	0	0
一般財源			4,746		2,613	20,100	27,459
人件費			1,091		1,091	1,091	3,273
職員			0.15人		0.15人	0.15人	0.30人
時間外勤務			0h		0h	0h	0h
嘱託員			0.00人		0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	0	0	5,837	0	3,704	21,191	30,732

妥当性 (市の関与)	学校教育法第5条では、学校の設置者は、その設置する学校を管理し、法令に特別の定めのある場合を除いては、その学校の経費を負担すると規定されており、公立小中学校の設置者である市が本事業を行なうことは、妥当である。
有効性 (施策貢献度)	教育環境の充実に資する取り組みとして有効であり、施策の推進に貢献するものである。
効率性 (コスト)	エアコンの設置については、国の交付金（学校施設環境改善交付金：補助率1/3）の活用を検討する。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり